

2017年10月31日

各位

株式会社ゲオホールディングス

ウェアハウス謎解きゲーム第三弾

「金田一少年の事件簿」コラボレーション企画

『電腦九龍城財宝殺人事件』を開催

2017年11月2日（木）より2018年5月13日（日）まで

株式会社ゲオホールディングス（本社：愛知県名古屋市中区、代表取締役社長：遠藤結蔵）の子会社、株式会社ゲオ（本社：愛知県名古屋市中区、代表取締役社長：吉川恭史）は、「ウェアハウス川崎店」で、「大人のための謎解きイベント『電腦九龍城財宝殺人事件』」を、2017年11月2日（木）より2018年5月13日（日）まで開催します。

『電腦九龍城財宝殺人事件』は、ゲーム参加者が「ウェアハウス川崎店」の店内に隠された謎を順番に解きながらゴールを目指す謎解きイベントです。参加者は受付時間内であれば随時スタートできます。

“刺激的で大人の高級感溢れる非日常の提供”をコンセプトに展開するアミューズメント施設「ウェアハウス」は、新しい試みとして昨年の12月から今年の9月にかけて「ウェアハウス川崎店」でリアル謎解きゲームイベント第一弾「電腦九龍城からの脱出」と、第二弾「取籠メラレシ姫ノ呼声（トリコメラレシヒメノヨビゴエ）」を実施しました。動員数はそれぞれ3,000名以上と事前の動員目標を大幅に上回る結果で、このたび第三弾として『電腦九龍城財宝殺人事件』の開催が決定しました。

『電腦九龍城財宝殺人事件』は、香港に実在した九龍城（※1）を忠実に再現している「ウェアハウス川崎店」の異空間を生かし、「金田一少年の事件簿 20周年記念シリーズ」に収録されている「香港九龍財宝殺人事件」のアフターストーリーとして作られています。「金田一少年の事件簿シリーズ」のファンの方はもちろん、リアル謎解きゲームイベント第一弾・第二弾の参加者も満足できる斬新な内容です。

実施期間は、冬休みやGWにあわせて遠方からの方でも参加できるように、過去最長の約6か月間に設定しており、期間中7,500名の動員を目指します。

本イベントは、「リアル宝探し」をコンセプトに全国各地で謎解きイベントを企画・運営しているタカラッシュ!の「BLACK LABEL」（※2）の協力のもとに実施します。



本件に関するお問い合わせは下記までお願いします
株式会社ゲオホールディングス 総合企画部 広報課 担当：芝田
TEL：03-5911-5784 E-mail：geo-pr@geonet.co.jp

■「大人のための謎解きイベント『電腦九龍城財宝殺人事件』」概要

開催店舗：ウェアハウス川崎店

(神奈川県川崎市川崎区日進町3-7)

開催期間：2017年11月2日(木)～2018年5月13日(日)

受付時間：月～金 9:00～21:00 最終受付

土日祝 7:00～21:00 最終受付

対象年齢：18歳以上

参加費：1,500円(税込)

企画・製作：株式会社 タカラッシュ

監修：リトルミラクル

協力：講談社

特設ページ：<http://blacklabel.takarush.jp/promo/warehouse/>

ストーリー

現代に蘇った伝説のスラム街「電腦九龍城」。

そのオープンを記念して、九龍城にあったと言われる時価数十億のダイヤ“ドラゴンアイ”を探すイベントが開催されることになったのだが、その裏には大きな陰謀が渦巻いていた…

“ドラゴンアイ”は実在するのか？

捕まったはずの“毒龍”の正体とは？

死のゲームが今、幕を開ける。

■「金田一少年の事件簿』とは

高校2年生の金田一一(はじめ)は、普段は気の抜けたひょうきん者だが、実は、かの名探偵・金田一耕助の孫！ひとたび事件に関われば、明晰な推理力で犯人が仕掛けた難解なトリックに、幼なじみの七瀬美雪(みゆき)と共に挑んでいく！！

■「香港九龍財宝殺人事件」(※3) ストーリー

ウリ二つのモデル、ランと間違われて、誘拐されてしまった美雪。

誘拐事件の裏には、なんと香港を丸ごと吹き飛ばすほどの威力の核爆弾が潜んでいた！

20年前、九龍城で何があったのか！？

一は美雪を無事、助け出すことが出来るのか！？

そして一連の事件の犯人「毒龍」の正体とは！？

※1：香港の九龍地区にあった複雑な建築構造の城塞で、1987年に当時の香港政府により取り壊されています

※2：「リアル宝探し」をコンセプトに全国各地で謎解きイベントを企画・運営しているタカラッシュ！の中でも大人向けに作られたレーベルです

※3：金田一少年の事件簿 20周年記念シリーズ2、3巻収録作品

以上

本件に関するお問い合わせは下記までお願いします
株式会社 GEOホールディングス 総合企画部 広報課 担当：芝田
TEL：03-5911-5784 E-mail：geo-pr@geonet.co.jp